



## 平成30年度定時総会並びに平成31年度理事会を開催 ～平成31年度事業計画・予算案、任期満了に伴う役員改選など承認～

### 【総会の概要】

去る2月7日(木)、国際ホテル松山において加盟倶楽部から35名が出席し、(委任状を含め全59倶楽部が参加)、四国ゴルフ連盟定時総会が開催されました。

会議では大亀孝裕会長が退任され、顧問に就任。新たに、三木輝久理事が会長に就任しました。三木新会長から、「厳しさを増すゴルフ界ですが、責務を果たしていくために、是非、ご支援、ご協力をいただき、ともに一致協力していくことを願います。」とのあいさつがあり、議事案件を審議した結果、全ての議案が原案どおり可決承認されました。

～承認・議決事項～

- ◆平成30年度事業報告・収支決算
- ◆平成31年度事業計画・収支予算
- ◆任期満了に伴う役員人事

### 【理事会の概要】

上記総会后に理事会を開催

～主な承認・議決事項～

- ◆平成30・31年度会長・常務理事の選出

会 長 三木輝久(琴平CC)(新任)

常務理事 井関和彦(愛媛GC)

柿谷友造(土佐ユートピアCC)、立石信彦(高松CC)(以上留任)

鈴木健壽(徳島CC)(新任)

理 事 大塚澄男(高松グランドCC)、小野幸男(新居浜CC)、清水康文(土佐CC)、藤村 浩(徳島GC)

真鍋彦介(エリエールGC)、森澤豊明(錦山CC)、山中健太郎(新居浜CC)(以上留任)

阿部 健(今治CC)、西澤孝幸(四国CC)、榎田 實(鮎滝CC)(以上新任)

監 事 田中 哲(宇和島CC)(留任)、喜多俊弘(讃岐CC)(新任)

顧 問 大亀孝裕(高原GC)

- ◆各委員会委員長・副委員長・委員の選任

総務委員会 委員長 清水康文(留任)

委 員 柿谷友造、後藤義昭(道後GC)、鈴木健壽、玉木一将(アルファ津田CC)

東川 稔(エリエールGC松山)、堀川昌俊(鮎滝CC)(以上留任)

競技委員会 委員長 山中健太郎

副委員長 能仁 勇(西徳島GC)、佐井重久(土佐CC)(以上留任)

HC委員会 委員長 真鍋彦介

副委員長 坪井 優(志度CC)(以上留任)

競技・HC委員

岩崎一雄(高松ゴールドCC)、後藤秀男(四国CC)、坂本晴美(スカイベイGC)

崎山俊紀(今治CC)、高橋献樹(サンセットヒルズCC)、武井峰子(サンライズヒルズCC)

谷口由紀江(鳴門CC)、二宮 薫(今治CC)、長谷川學(道後GC)

前田 理(高知GC)、松岡孝雄(エリエールGC)、森 茂幸(屋島CC)(以上留任)

加藤正之(エリエールGC松山)、亀田勝彦(松山GC)(新任)

ジュニア委員会 委員長 山中健太郎

副委員長 二宮 薫

普及部会長 川西章子(屋島CC)

発掘育成部会長 森 茂幸

強化部会長 崎山俊紀(以上留任)

委 員 池内早苗(琴平CC)、榮田哲朗(スカイベイGC)、神田重廣(高原GC)

菊池和子(エリエールGC松山)、國澤利久(パシフィックGC)

作森信一(ロイヤル高松CC)、高橋献樹(サンセットヒルズCC)

平松賢斉(グランディ鳴門GC)、福岡浩二(愛媛GC)(以上留任)

稲田真也(高ゴ連)(以上新任)



◆平成31年度日本ゴルフ協会理事・評議員・分科委員会委員候補者の推薦

理事		三木輝久 (新任)
評議員		井関和彦 (新任)
総務委員会	委員	清水康文 (留任)
	税対策部会	鈴木健壽 (留任)
規則委員会	委員	佐井重久 (留任)
競技委員会	政策部会	山中健太郎 (留任)
	男子競技運営部会	佐井重久、後藤秀男 (以上留任)
	女子競技運営部会	坂本晴美、二宮 薫 (以上留任)
ハンディキャップ委員会	政策部会	真鍋彦介 (留任)
	コースレーティング部会	坪井 優 (留任)
競技者育成強化推進本部	普及部会	川西章子 (留任)
	発掘育成部会	森 茂幸 (留任)

## 平成31年度ジュニアゴルファー 四国地区指定強化選手を決定

平成30年12月19日、ジュニア委員会が開催され本年度の活動報告とともに、次年度の四国地区指定強化選手選考について協議が行われました。選手選考にあたっては、JGAの意向を尊重し、即戦力・実力主義に重点をおいて、選手数を男女とも5～6名程度に制限して選出することとし、JGAアマランキング、四国ジュニアや他の成績などを評価し、総合的観点から選手を選出しました。(下表のとおり)

指定された強化選手の中から男女各3名を8地区強化指定選手合同体力強化合宿(男子：平成31年1月29日～2月1日、女子：平成31年1月26日～1月29日、フェニックス・シーガイヤ・リゾート、フェニックスゴルフアカデミー)に派遣しました。

また、第1回指定強化選手のトレーニング合宿を4月1～3日に、中国ゴルフ連盟と合同で、岡山県玉野市の東兎が丘マリンヒルズゴルフクラブで実施することとし、6月、11月頃にも強化合宿を実施することとしました。

【男子強化選手】

名 前	県名	学年 (4月進級後)
岡田 晃 平	高知	高3
福住 修	高知	高2
高宮 千 聖	高知	高2
加藤 将	香川	高1
高橋 和 浩	香川	高1
行正 怜 恩	香川	高1

【女子強化選手】

名 前	県名	学年 (4月進級後)
石川 夢 香	愛媛	高3
中村 真 菜	高知	高1
島勝 ひなた	徳島	高1
城戸 姫 菜	愛媛	中3
川上 千 夏	愛媛	中3



8地区強化指定選手合同体力強化合宿(宮崎)

## ゴルフ場利用税廃止運動について

ゴルフ場利用税は、平成元年に消費税が導入された際、娯楽施設利用税が廃止されましたが、担税力のある裕福な者が行うスポーツであるとして新設され、平成15年に一部非課税措置が導入されたものの、未だに存続しています。

ゴルフは国民体育大会をはじめとしてオリンピックの正式競技にも採用され、子供から高齢者、障害者まで親しむことができる健康長寿につながる生涯スポーツであり、地域の雇用創出、固定資産税収や環境保全、災害時の避難場所など地域社会の活性化に大きく貢献しています。

しかしながら、ゴルフ人口の減少に伴い、多くのゴルフ場、ゴルフ関連産業が窮地に陥っています。ゴルフ場利用税はピーク時の半分以下にもなっており、地域社会と共存共栄を図っていくためにも、ゴルフの普及を阻害する要因であるゴルフ場利用税廃止とゴルフ場所在市町村の貴重な財源であるゴルフ場利用税に替わる代替財源の確保について、日本ゴルフ協会をはじめ、8地区ゴルフ連盟、関連団体が永年廃止を要望していますが、税制改正においては長期的に検討するという状況となっています。

昨年は、4県のゴルフ場の代表者・理事長連名による要望書を作成し、国会議員への要望活動として11月に開催された自民党5部会合同会議・総決起集会に参加し、陳情活動を行いました。今年度も日本ゴルフ協会、ゴルフ関連団体や各地区連盟と協力して、ゴルファーとゴルフ界の繁栄のために、ゴルフ場利用税の廃止に向けた運動を展開してまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

### 『何故、18ホールになったのか (その1)』

ゴルフコースがどうして18ホールなのか、今でも3ホールや6ホールのコースもありますが、原則として18ホールが正規のホール数となっています。これには1ホール1杯のスコッチを賭け9ホールに来た時スコッチが無くなったので18ホールになったなどという珍説もあります。実際はそんなことではなく昔はいろんな数のゴルフ場があったようです。

例えば、1860年より11年間プレストウィックのコースで行われました全英オープンは、ここが12ホールしかないので12ホールを単位として行われています。また、アートフィールドは13ホール、マッセンバラは僅か5ホールしかなく、ブラックヒルズは7ホール、その他3ホールのコースもあり、セントアンドリュースは22ホールありました。こんな具合で19世紀まではゴルフ場は各自勝手でした。その頃の試合がマッチ・プレイでしたのでそれでよかったです。ちなみに今でも英国の田舎に行きますと3ホールのコースがあり、芝刈りを馬でやっていました。

その頃ロンドンの郊外にあり、メンバー700人を誇っていましたウィンブルドン・ゴルフ・コースも僅か7ホールですが、1870年に拡張工事をする事になり、そこで満場一致で選ばれた設計家がトム・ダンでした。皆さんもこの地名を聞きますと、テニスのことを思い浮かべるでしょう。ここはテムズ河の上流で美しい所です。トム・ダンは熟慮の結果、設計図を書き上げ、全体のコースの前半10ホールを終わるとハウスに帰り、後半の9ホールを終わるとハウスに帰るような設計をしてメンバーから大変喜ばれました。1年後に19ホールの素晴らしいコースが完成したのですが、メンバーは廻っているうちに何となくスコアの計算に面倒を感じ始め出したのです。それは前半が10で、後半が9のために計算が合いにくくなり、そこでメンバーの役員が集まり協議の結果、もう1ホール創設することに決定したのですが、土地が無く前半のホールを1ホール減らして、前半と後半を9ホールにしたのです。その結果、前半をゴーイング・アウト、後半をカミング・インと名付け、今日のような18ホールになったのです。この様式は大変便利なので、他のコースも次第に18ホールに改造していったと、撰津茂和氏は著書に書いています。

(手島皓一)



## わがコースの名物ホール その17

### 錦山カントリークラブ

イン 16番ホール

PAR 4 (BT357ヤード RT334ヤード)

当クラブは、昭和48年11月に清流「仁淀川」を眼下に望む日高村錦山の地に開場しました。地形を生かした個性あるコースで、高低差は40mある丘陵コースですが、各ホールは比較的フラットにレイアウトしています。

錦山の名の通り、種々の植物が群生し四季折々の花や木々の移ろいが美しいコースです。

今回ご紹介する16番ホールは、セカンドが池越えのミドルホールです。

飛ばし屋の方であればBTから265ヤード・RTから240ヤードしっかり打てば池越えが可能なコースですが、ティーショットを池の手前に刻む場合の距離はBTから200ヤード・RTから175ヤード位で、セカンドショットが150ヤード位となります。ティーショットをヘアウェイの左側にしっかり打っておくことがスコアメイクの鍵となるホールで、距離感と方向性が求められる戦略性に富んだホールです。



## わがコースの名物ホール その18

### 松山ロイヤルゴルフ倶楽部

16番ホール PAR 4

松山インターチェンジからR56号砥部回りで約30分、標高400～600m伊予市中山町に位置し、夏は涼しく爽快なプレーが楽しめるコースです。

今年4月に45周年を迎える当倶楽部ですが、コース東側アウトコースはゆるやかな丘陵地に広がり、フラットでフェアウェイも広く豪快にプレーできるホールが多くあります。

インコースは障子山を上って下りてくるようにレイアウトされており、かなりの高低差があるホールやトリッキーなホールも多く、距離感や総合的な技術が求められる戦力的なコースとなっています。

その中でも今回紹介する終盤16番は、397ヤード(約30m)の打ち下ろしのホールです。左側の木々がせり出しており、グリーンに向かってコースが狭く見えるためティーショットは緊張感があります。グリーンは手前から奥に速いのでセカンドショットの正確性も必要うえ、高麗独特の強い芝目が容易にカップインを許しません。1日のキーポイントになることの多いこのホールです。



## 〈事務局からのお知らせ〉

### ◆グランドシニア会春季大会のお知らせ

春季大会を4月26日(金)に本年度のグランドシニア選手権大会が開催される香川県のエリエールゴルフクラブで開催します。参加資格は、四国ゴルフ連盟に加盟している倶楽部の会員で、数え歳で男性70歳以上、女性60歳以上です。お誘い合わせて、多くのご参加をお願いします。

### ◆平成30年加盟倶楽部の入場者数

平成30年度年間入場者数は、2,110,429人(対前年△4%・88,584人減、ピーク時の平成4年と比べ3割も減少)で長期的な減少が続いており、若い世代のゴルファーや女性ゴルファーの創造など、ゴルフの普及振興が喫緊の課題となっています。